

Sato Tadayuki Sato Souta Sato Keiko Kozaki Michiyo Imaiida Shizuka Iida

Yuri Ito Moeri Yoshida Natsuko Takahashi Rio Iwata Miyuu Sato Dental Club

みのり新聞

Nakashima Akira Kawaguchi Maho Yuchi Akio Banno Haruna Hada Hiroko

Sakurai Kaori Takahashi Tomomi Ichihashi Yusuke Sato dental Club Sato

**食べる喜びの
すぐそばに**さとう歯科医院
みのり会

発行人 佐藤 聡太

〒481-0006

北名古屋市熊之庄小島159

ムシバ ナクナル

0120-648-797

北名古屋 さとう歯科 検索

マウスピース矯正で笑顔に！

テレビやネットで、マウスピース矯正の情報を目にするが増えました。しかし、従来のワイヤー矯正も目にします。もし矯正治療を受けるとしたら、どう違うのでしょうか。

そもそも歯並びは、様々な要因によって決まります。

中でも、発育不全で顎が小さかったり、生まれつき上下の顎がずれていたりする骨格的な要因。または歯が平均より大きい、誤った位置に生えてしまうといった歯性的な要因。他にも指しゃぶりや舌癖、お口ぽかんといった悪習癖。

これら複数のマイナス要因が絡まり合うことで、歯並びが整わなくなってしまう。

そこで行うのが矯正治療です。ワイヤーを使ったマルチブラケットという方法は歴史も古く、今も行われる代表的な治療法です。ただどうしても器具が目立つことや、食事などによる器具の脱離、粘膜のすれや痛みといったトラブルもあります。

特に「歯並びを整えたいけど、ワイヤー矯正はちょっと...」という、成人した方々の声で誕生した方法がマウスピース矯正でした。1990年代後半にアメリカで開発され、その後カメラやコンピュータ技術の進歩とともに一気に進化。高精度なシミュレーションとマウスピースの製作が可能となり、いまや成人だけでなく、子どもから中高年まで幅広い矯正に対応できるようになりました。

本号では、マウスピース矯正の特徴や疑問、メリットやデメリットをまとめました。

マスクを外す機会が増えている今こそ、キレイな歯並びを手に入れるチャンス！

理想の笑顔に一步近づいてみませんか？

気になる費用の面は？

もともと、矯正治療には保険が適応されません。そのため比較的高額な治療、というイメージがあるかもしれませんが。金額の設定は歯科医院によってまちまちですが、現在のマウスピース矯正はワイヤー矯正に比べて同等か、ややリーズナブルなことが多いようです。

また、初回の検査や毎回の調整料、治療後の保定（あと戻り防止装置）など、それ以外にも費用がかかる場合があります。事前によくご相談することをお勧めします。

マウスピース矯正とは

患者さんごとにオーダーメイドされた透明なマウスピースを約1～2週間ごとに交換することで、段階的に綺麗な歯並びへと導きます。マウスピースで歯に少しずつ力を加えて動かしていく方法です。

ワイヤー矯正とは異なり、装置が目立ちにくく取り外し可能なため、周囲に矯正をしていることが気づかれにくいのが特徴です。

☆メリット

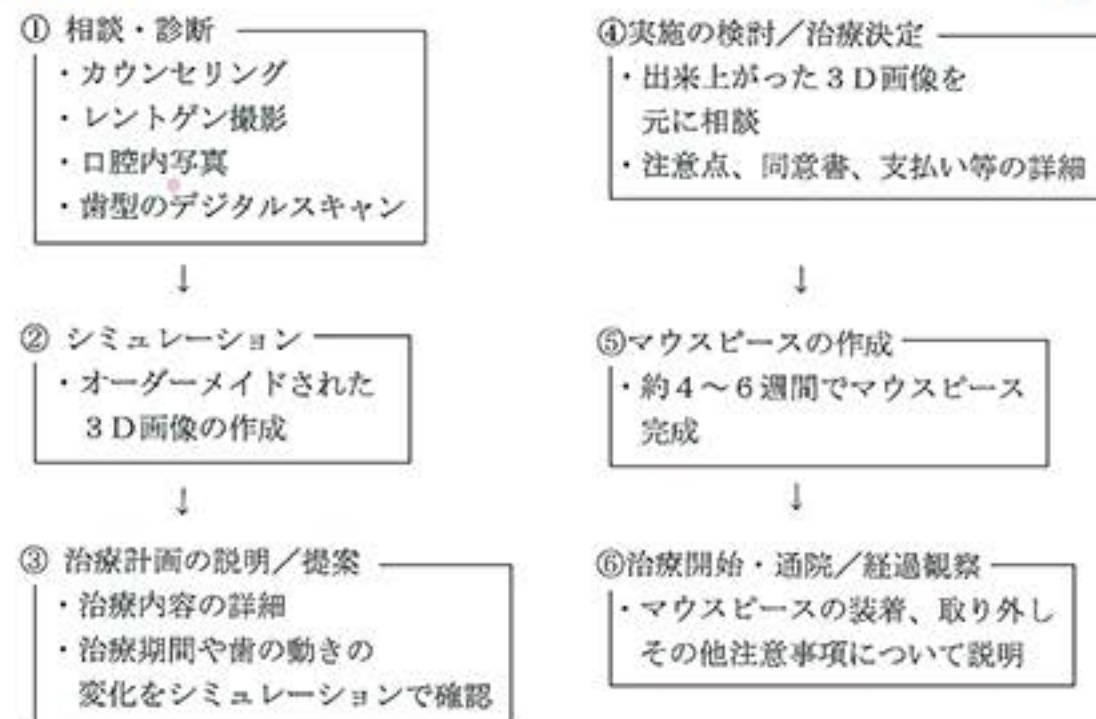
- ・治療後のイメージが事前に確認可能
- ・事前におよその治療期間が分かる
- ・治療中のトラブルが少ない
- ・取り外し可能な装置で目立たない
- ・異物感や痛みが比較的少ない
- ・普段通りに食事や歯磨きが行える
- ・金属アレルギーの人でも治療できる
- ・日常生活への制限がない

☆デメリット

- ・1日20時間～22時間以上の装着が必要
- ・自己管理次第で治療効果に差が出る
- ・飲食の際は取り外し、装着前に歯磨きが必要
- ・適応できない症例がある



☆治療の流れ



※デジタルスキャン…従来の歯型取りとは異なり、歯形を撮影し立体的に画像処理・データ化する技術

IPR、エンゲージャーとは？



☆IPR (Inter Proximal Reduction : 隣接面削合)

IPRとは、矯正治療において歯と歯の間のエナメル質を微量に削ることでスペースを確保し、歯並びを整える方法です。

この処置により、抜歯を避けつつ歯並びを整えることが可能となります。

利点として、歯を抜くことなく、歯を動かすために必要なスペースを必要な場所に確保でき、治療期間を短縮できることがあります。

またスペースを作ることで、より理想的な計画を作ることができます。

そのため、見た目の美しさだけでなく、機能的な噛み合わせの改善にもつながりやすくなります。ただし個人差はあるものの、処置後、一時的に知覚過敏が生じる場合があります。



☆エンゲージャー

歯の表面に一時的に取り付ける、樹脂でできた突起のことです。

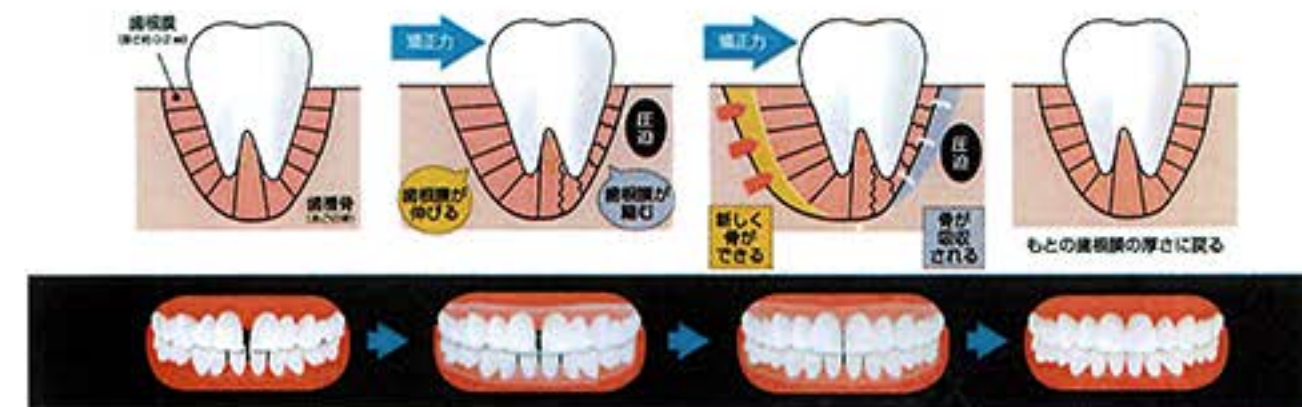
マウスピースだけでは歯を捉えきれず、十分な力を加えられない場合に付け、固定源や、作用点とします。

歯と同じ色で目立たず、治療後は簡単に取り外すことができます。

歯はなぜ動くのか？

歯に矯正力が加わると、歯根に圧迫された側の骨がなくなり(吸収)、反対側の隙間に新しい骨が作られます(再生)。

骨の吸収と再生を繰り返し、結果として歯が移動していくのが歯列矯正の仕組みです。



▲ マウスピース装着時の歯が動くイメージ

みんなが気になるQ & A

Q1 マウスピース矯正は、痛みはありますか？



マウスピース矯正は、特定の歯を動かそうとするため圧迫感を感じます。個人差はありますが3～5日は違和感が生じ、その後落ち着くのが一般的です。次のマウスピースに交換すると再度圧迫感が生じますが、歯が段階的に動いている証拠でもあります。

Q2 年齢制限はありますか？



マウスピース矯正に年齢制限はありません。

「歯の矯正」と聞くと、子供のときに行うイメージがあるかもしれませんが、歯を支える骨（歯槽骨）が健康であれば、年齢の上限はありません。とくに近年は、目立ちにくいマウスピース矯正の進歩から、20代から30代だけでなく40代、50代、60代以降から矯正治療をはじめる方も増えています。

Q3 マウスピースをつけたまま食事をしてもいいですか？

食事中はマウスピースを外して頂きます。飲み物は水でしたら問題ありません。それ以外の飲み物は、マウスピースの着色や、むし歯になるリスクがあるのでおすすめできません。どうしてもという場合にはストローをご使用ください。

Q4 マウスピースのお手入れ方法は？



基本的に、水で洗い流せば十分です。定期的にマウスピース専用のタブレット型洗浄剤や泡タイプの洗浄剤をお使いください。



タブレット型



泡タイプ

